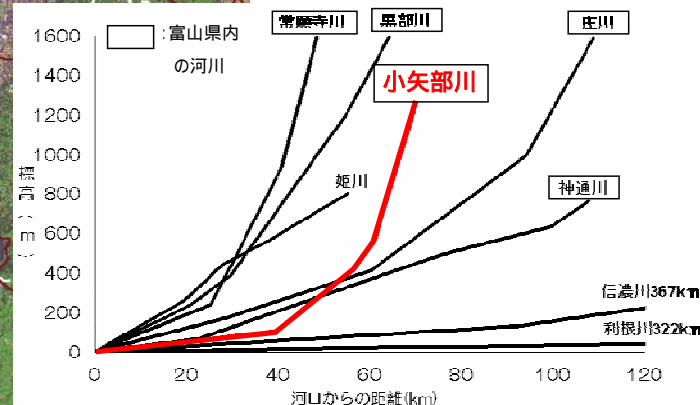
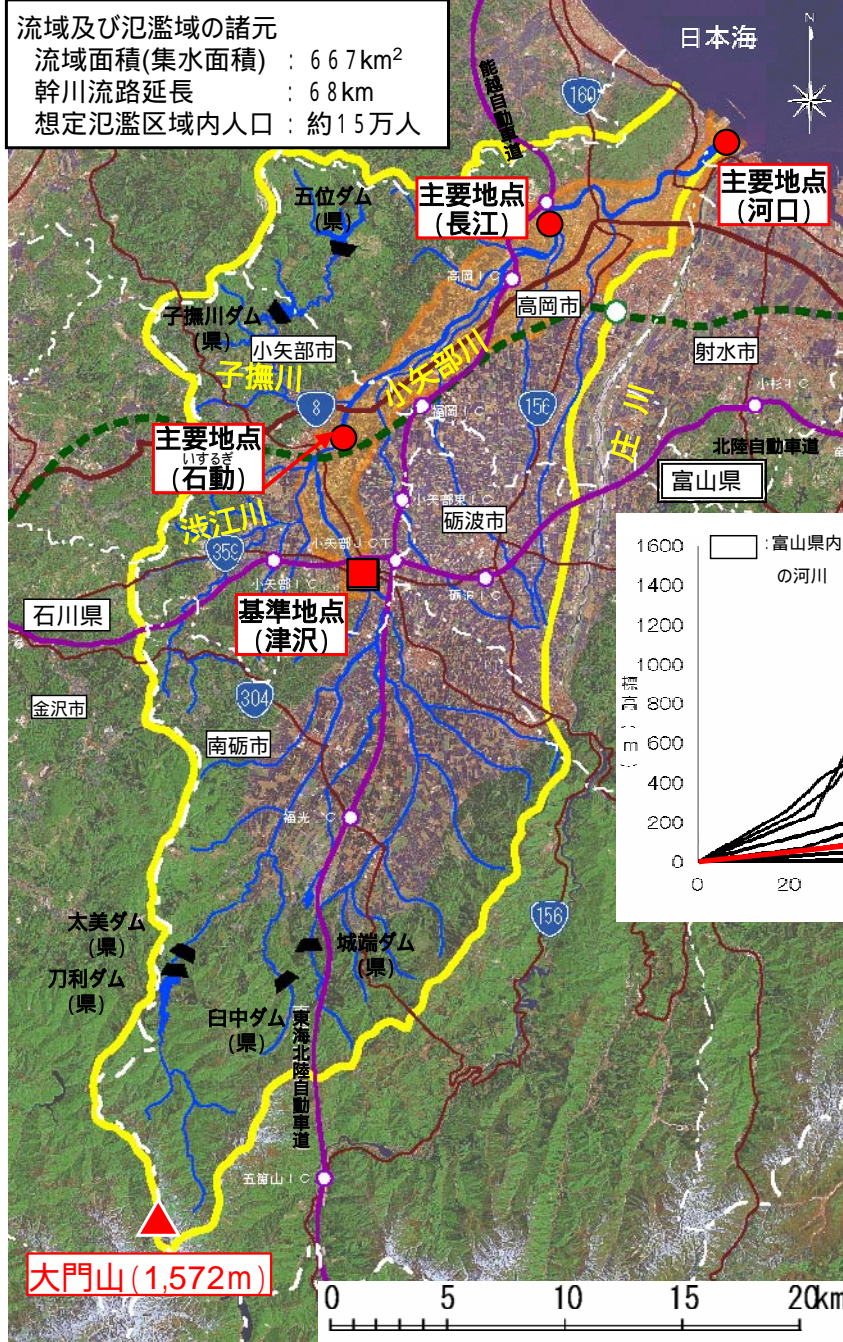


小矢部川水系河川整備基本方針の概要

流域及び河川の概要

流域の年平均降水量は、平野部で約2,400mm、山地部で約3,100mmと多く、全国平均を大きく上回る多雨多雪地帯
 流路の70%が平野部を流れており、富山県内では珍しい緩流河川
 小矢部川は庄川によって形成された扇状地の西側扇端付近を流れているため、庄川が氾濫した場合には小矢部川右岸流域でも甚大な被害が発生

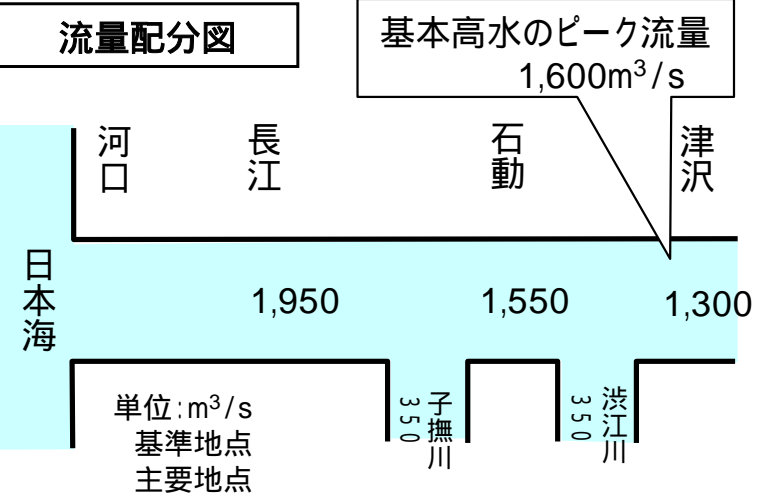
流域及び氾濫域の諸元
 流域面積(集水面積) : 667km²
 幹川流路延長 : 68km
 想定氾濫区域内人口 : 約15万人



凡	例
—	流域界
—	想定氾濫区域
- - -	県境
- - -	市町村界
■	基準地点
●	主要地点
▲	ダム

災害の発生の防止又は軽減

昭和28年9月洪水以降、計画規模相当の洪水が頻発しているため、既定計画を見直すこととし、全国バランスを考慮しつつ地域の社会的経済的重要性等を踏まえ、計画規模を1/100とする。
 基本高水のピーク流量は、時間雨量データによる確率からの検討、流量データによる確率からの検討、既往洪水による検討等により、基準地点津沢において1,600m³/sと設定



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既設洪水調節施設で対応
- 小矢部川の右岸流域は、隣り合う庄川の氾濫域でもあるため、その氾濫特性も踏まえた被害軽減対策を実施
- 水衝部の侵食や洗掘等による洪水氾濫を防ぐため護岸、水制等を整備
- 特定重要港湾伏木富山港(伏木地区)としての利用状況や住宅等の集積状況を踏まえ、港湾等関係機関と連携を図りながら、住宅等の防御対象の特性に応じた施設整備や情報連絡体制等について調査検討を進め、必要な対策を実施

既設洪水調節施設



下流部の蛇行状況



河口部港湾区域



河川環境の整備と保全

小矢部川の特徴的な生物のウマノズクサ群生地やマンセンカラマツ生育場、トミヨやドジョウ等が生息・繁殖するワンドや淵、ミクリやナガエミクリ等の水生植物が豊富に見られる細流、アユやサケ等の回遊性魚類並びにウグイやマルタウグイ等の産卵場になっている早瀬、平瀬のレキ床の保全・改善等に努める
 外来種については、関係機関と連携して移入回避や必要に応じて駆除等にも努める



瀬・淵



ワンド・細流



小矢部川で確認されたオオキンケイギク(特定外来植物)

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
 津沢地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、かんがい期、非かんがい期で概ね6m³/s、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする